

2024年12月版 『スタシャポーニュース冬号 (第72号)』

発行元
文京区大塚5-11-8
帽子の学校
スタシャポー学院
TEL03(3941)0895
www.sudahat21.com



2024年秋、みなさまは、どんな日々をお過ごしでしょうか？先が見えず、すぐには咲かない花も自分が蒔いた希望の種から始まります。どんなときも「今ここから」夢の種を育てて温めてゆけたらよいですね。その道のりには、色々な事がありますが、1歩1歩のその道のりで、素敵に輝いている皆様を応援してゆきたいと思ひます。

Tenshino☆Wa 帽子の森 被災地支援 PROJECT at千駄木「ホワイトギャラリー」

～優しさのバトン～「アートと帽子の森 展示販売チャリティーイベント」2024/10/4～6のご報告

この度は、須田京子が発起人として開催しましたチャリティーイベントに、お心を寄せていただき誠にありがとうございました。4日間のイベント終了のご報告と共に、ご賛同・出展いただいた方々、宣伝にご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。

当初は石川県への支援募金を予定しておりましたが、飲料水等、宅急便が届かない地区にも細やかかつ迅速な支援をされている活動団体にお役立ていただきたく思い、出展者の皆さまよりイベント売り上げの一部46480円をお預かりし、別途チャリティー短冊販売、その他寄付金を合わせ『125,030円』を10月25日に登山家の野口健さんが代表を務める「NPO法人ピークエイド」に募金させていただきました。



当日のイベント会場の画像や、詳細等は、スタシャポーのブログでご覧になれます。お目通しただけでしたら幸いです。→



「水害の後の状況」… 募金先NPO法人ピークエイドによる能登の重蔵神社で毎週土曜日に野菜配布の「もっと野菜プロジェクト」では、水害前配布に並ぶ方が300名台から、水害後、広範囲からの来場が増え、400名超えで並ばれている現状。日に日に支援物資が少なくなり、支援物資をほとんど手にすることのできない地域もあるとの事で、体力と資金の続く限りの活動されるとInstagramにて拝見しました。ピークエイドに加わった支援者（ミュージシャン石井竜也さん）だけでなく、先日から岡山県総社市の片岡市長、片岡市長から別地区市長にお話が繋がり、10市がプロジェクトに加わるとの事。今後のチャリティー企画は、須田京子の個人活動という意識から帽子の学校スタシャポー学院としての活動へと軸を移して、引き続き、微力ではありますが、被災地のみなさまの様子見守り、出来る時に出来る事を少しずつ継続していきたいと考えています。

2024年12月1日(日)「秋冬帽子♥販売会開催」帽子の学校スタシャポー学院にて ★OPEN 11時～16時30分 秋冬帽子約100点 &ワゴンコーナー 帽子のお話 被り方レクチャー 15時～

恒例の大塚の帽子教室会場での販売会、今後は在校生有志に加えて、旧生徒さんで活動されている方々も、加わるスタイルになりました。暑かった初秋を抜け、急に冬支度になった今年の冬。

ここでしか出会えない、お気に入りの帽子を見つけに来ませんか？大切な方へ、又は自分へのクリスマスプレゼント探しに、お誘いあわせの上、お立ち寄りください。お手頃価格の帽子から試着するだけで楽しい特別な日のための帽子まで色々♪ もっと素敵に帽子を楽しめるようになるチャンス♥是非お出かけください。



2025年は、『夏帽子☆生徒作品展開催』です♥

販売するだけでなく、帽子教室ならではの新しいチャレンジ、楽しい企画を一緒に考えて、学びながらイベントを創っていきませんか？企画メンバーも募集しています。可能性を伸ばすのは自分次第。作品作りのレベルも、グンとアップする作品展。どうぞ、奮ってご参加ください。

在校生には詳細を別途お知らせいたします。

NEWS! お守りタオルハットワークショップ



対面講座に加えて、全国どこからでも学べる「通信講座」受講生募集スタートしました♥
お家で学べて、認定も受けられる タオル&型紙マニュアル&分かりやすいサポート動画 作り方&被り方アレンジ付き。ぜひ、ご活用ください。

A 教室見学説明会 B 布帽子体験講座

<A・B開催日> 1/13～15 2/10～12 3/10～12

フェルト帽体 土曜日体験講座

<開催日> 2/8、3/8

●デザイン8型、色12色よ選び、制作。

※今がお得！材料高騰の為価格上がります

●受講料(材料・税込)

ベロアフェルト(兎毛) 12000円

ウールフェルト(羊毛) 9800円



*B布帽子完成作品イメージ

見学・体験詳細・申込は、こちらから→



★ご入学は(毎月申込20日×翌月スタート)
詳細はHP、または当校にお問い合わせください★

初心者歓迎
お気軽に
どうぞ♥



*所要時間約3時間(各回定員4名)



研究会 注目作品・・・毎月各クラスで全員参加で行う帽子研究会。まずはテーマに合わせて講義を行い、翌月、テーマにチャレンジしてみたい人が作ったオリジナル作品発表し、その中から注目作品をご紹介します。

10月11月のテーマ「アート&ハロウィン」・・・新井裕子さん1点 畔上英子さん2点 布施あつ子さん3点

★11月のテーマ 「～フォーマル・パーティーハット・冠婚葬祭～」 提出期間:12月2日～5日 360度作品鑑賞、
12月の研究会 16日(月)～19日(木) パーティーハットを被って、クラス写真撮影有。未発表 作品解は、
のパーティーハットで撮影で、課題提出1カウントになります。楽しい遊び心のある帽子では是非♡ こちらから→



★お教室のお知らせ★

時代の流れに合わせて、スタシャポー学院でも電子化を取り入れて、双方がスピーディーでシンプルな伝達が可能になるように事務的な事を、簡素化していくことになりました。下記、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

- 1、今後は、スタシャポーニュース、研究会スケジュール案内、調整休日カレンダーは印刷物ではなくWEBサイトのご案内に移行してゆきます。
- 2、レッスンの予約・申込・変更受付や、その他お知らせを確実にスピーディーにお届けするため、「LINE」のシステムを導入することになりました。お手数ですが、準備が整い次第、ライン登録をお願いいたします。操作が分からない方は、お気軽にご相談下さい。
- 3、※材料費の値上がりおしらせ Wカチューシャ ステンレスワイヤー 不織布他、購入時にご確認ください。

「帽子でちょっと良い話」第59話 『帽子作りは、コミュニケーション』

私は「FUNE」というブランドで、子どもから大人まで、かぶりたくなる、カブラないCAPを一点ずつ手作りしています。現在、平日は別の仕事をしながら、週末にハンドメイドのイベントに出店する事がメインの活動です。スタシャポーに入学したきっかけは、自分に似合う帽子が作りたいと思ったことでした。ブランドをキャップメインにしているのは、自分が被りたいと思えるモノであり、また様々な世代やスタイルに寄り添え、帽子が初めての方の入口になりやすいものということで、キャップの魅力を感じているからです。将来は帽子一本でやっていく事を目指しながら、今は限りある時間の中で全力を出しきることを大切にしています。ただ、肩に力を入れすぎずに「全て思い通りにならなくても、結果オーライなら人生それで良い」というパリエジヌの言葉に助けられています。今回、原稿を書くにあたり、改めて自分にとって帽子作りは何なのか考えてみると『コミュニケーション』なのだな、と思いました。「コミュニケーションとは、自分の気持ちや考えを、言葉を通じて相手や社会に伝えること、通じ合うこと」とあります。私はそれを、「帽子で表現したい」と思っています

今年元旦に能登半島地震がありました。私の祖父は、石川県の門前町(現在は輪島市)の生まれでした。私は行った事はありませんが、小さい頃から祖父母や両親から話を聞いていて、毎年親戚から送られてくる、カラフルな生かきもちが大好きでした。何かお役に立てたらと思い、自分ができる事で、帽子1点の販売に対して300円の寄付をしています。10月には京子先生にお声かけいただき、チャリティーイベントにも参加させていただきました。今後も、ブランド名の由来のように、新しい発見や出会いに恵まれ、世界中の人と繋がれる事を願いながら、海を渡っていく船(FUNE)になれるよう、帽子作りを続けていきたいと思っています。 文 スタシャポー倶楽部 中川佳之



↑石川県観光キャラクター「のどどん」キーホルダー

ミニキャップは余った生地で作成↓



↑Instagram

<出展のご案内>

高等科 大森彰子
《第9回 伊藤浩子 編み物グループ
チャリティーバザー》
11/26(火)～12/1(日)
11時～18時(最終日16時まで)
場所:銀座幸伸ギャラリー
中央区銀座7-7-1 TEL03-3572-3888
恒例の銀座で開催される編み物展に、
各種四季の帽子35点出品 毎日在廊。

<Instagramライブで紹介されました> メンズハットII 内間慎吾(スージー)

浅草橋 レンタルボックス「パンドラ・ノ・ハコニワ」の作家さんブース紹介にて、内間さんの展示コーナーが紹介されました。



<雑誌掲載のお知らせ>

高等科 只野末子 2025/1/15発売「和布と手作り」25号にて、ご自身のアトリエで活動をされている只野末子さんへの取材が掲載されます。(作品の作り方&型紙付)
※MUSASHI BOOK「和布と手作り」編集担当 浅井ゆかり(中等科在籍)
Instagram@wafutotedukuri
只野さん作のオーダーメイドの服や帽子は細部までのこだわりが魅力的でした。

<Tenshino♡Wa 帽子の森Project のご報告>

被災地支援チャリティー活動「お守りタオルハット」ワークショップの認定を受けてくださった 宗像小百合さんより、淡路島で開催されたクラウドファンディングによるイベントにお守りタオルハットを8点出品し、大好評で完売♡のお知らせ頂きました。

※紹介イベントは、事情により、急遽変更・中止される可能性もありますので、必ず「当日に開催をご確認の上」ご来場ください。

※「帽子でちょっと良い話」や、みなさまの「帽子の活動情報」の原稿募集中♡ イベント開催、マスコミ掲載等、小さなチャレンジも是非お寄せください。

<ファッションショーの晴れ舞台で、オーダー製帽子の帽子登場>

OG 春日敬子・・・バンクーバーのファッションショーに出展が決まっていたブランド、TETTE.fabricsのデザイナーさんより、春日さんのInstagramの作品をみて、帽子デザイン制作の依頼があり、完成した帽子3点がファッションショーで使用されました。



←TETTEのショーは、開始15分後辺りからご覧になれます♡・・・

- ①4番目のショートパンツとコーデの帽子
- ②最後から2番目ピンクチュールのヘッドドレス
- ③最後のドレスの帽子

♡編集後記♡

駆け抜けるように過ぎてきた2024年。その中に沢山の出会いと思ってもよらなかった展開があり、恵まれた「今」を感じています。考えても正解が出ないことにはおもきを置かず、「感じること」を信頼して動いたことで、可能性が広がり視点も変わりました。いつももきっと、「今、ここにある、目の前の出来事」は、私が私を知るギフトなのだ、と思う今日この頃。日々これ、良い1日。どうぞ、素敵な年末年始をお迎えください。 学院長 須田京子